

フランス Institution Saint Francois 上杉 さん

留学期間：R4.8～R5.6（1年間）

私は、8月からフランスで交換留学をしています。最初の1ヶ月間は北西フランスのサンマロというところで、他の国の同年代の留学生たちと、フランス語と英語のスキルを身につける語学研修を行いました。これは私の留学会社が催したもので、そこではドイツ人やブラジル人、メキシコ人やアメリカ人など、多くの文化交流ができる場としても、他国についていろんな事を知ることができました。海外経験のなかった私にとってとても貴重で刺激的な体験でしたが、それと同時に自分の語学力の足りなさや海外への知識不足に悔しさも覚えました。その悔しさのバネを胸に、9月から南東



サンマロ研修

フランスのトデュールという小さな村でホームステイをしています。学校が始まって、新しい人達との出会いやエッセイ式のテストなどの多くの困難とともに、英語とフランス語を毎日必死に勉強しています。休憩時にも Netflix で海外の映画をフランス語でみたり、ニュースをみたりして自分の語彙を高め



ホストファミリーとの写真

ています。そんな中救われたのが、フランスの人達は日本が大好きで、私が日本人だと自己紹介したら、人気アニメのキャラクターの真似をしてくれたり、日本食の話を持ちかけてきたりと、海を越えた国で日本が愛されていることを知り、母国である日本に非常に誇りを持ちました。同時に、フランスで流行っているものなどを共有できて多くの友達もでき、楽しくコミュニケーションを行えています。

現在フランスに来て約4ヶ月、ここでの生活にも慣れてフランス語が理解できると同時に簡単な日常会話を話せるようになりました。学校が始まり3ヶ月間はフランス語、英語だけの授業や、新しくできた友達との会話にとっても苦戦しました。私の学校の授業では、国際問題について議論したり、グループ

で調べた事をクラスの前で研究発表をする機会ばかりで最初は本当に困難でした。その上、生徒たちが授業中に手をあげて自分の意見や質問を積極的に発表する授業スタイルにもなかなか慣れなくて大変でした。そんな中でも政治体制や歴史について「日本ではどうなの?」「あなたは思う?」といった質問に対して、いかに自分の意見を素直に伝えられるか、どうしたら具体的にわかってもらえるか、それらを踏まえて自分の口から説明するのは難しかったです。それでも、自分が持っている知識を活かして説明したり、写真を見せたりして相手に理解してもらえた時、私は本当に嬉しかったです。この瞬間がお互いの国の文化の交換に繋がるのだと実感できたからです。そういった面で自分の意見を持ち、みんなに共有することの大切さを改めて学びました。しかしながら私はまだ、自分の今の語学力の状況に満足いかず、毎日欠かさず予習復習をこなし誰にどんな質問をされてもいつでも答えられるよう



授業の様子

に自分の中の知識を高めています。また、私の学校には英語やヨーロッパ内の多言語を流暢に話す学生が多く、そんな彼らの実力を知って、発展した海外教育の実態への嫉妬とともに、もっと頑張ろうと心の底から思いました。授業で理解できなかったところはその教科担当の先生や、フランス語の先生をしているホストマザーに聞いてなんとでも授業についていけるよう取り組んでいます。幸いにも、先生方や友人、クラスメイト、ホストの方達が親切で親しみやすいため、簡単に質問できる環境で学習に励んでいます。他にも、私はスポーツ活動として、ヒップホップダンスとバドミントンをしています。いろんな年齢の子たちと関わり合う事ができています。

また、バカンス時にはホストファミリーと映画音楽のコンサートに行ったり、友人と映画館で白黒の映画を楽しみました。学校の特別授業の1つをCinémaにした事をきっかけに、様々な国の映画に興味を持ち、クラスの仲間と実際に、ショートフィルムを作成したりもしました。本物の映画用のカメラや、音響機器を使わせてもらい、フランス語の台詞で出演もしました。新たな体験ができてとても楽しかったです。そして、クリスマス前の大きなイベントとして、同じ学年のみんなと一緒に、日本語版のジングルベルを歌いました。クラスでたくさん練習して、みんな楽しそうに日本語の歌を口ずさんでいたので私も幸せでした。



特別授業 cinema での写真



クリスマスで日本語の歌を歌っているときの写真

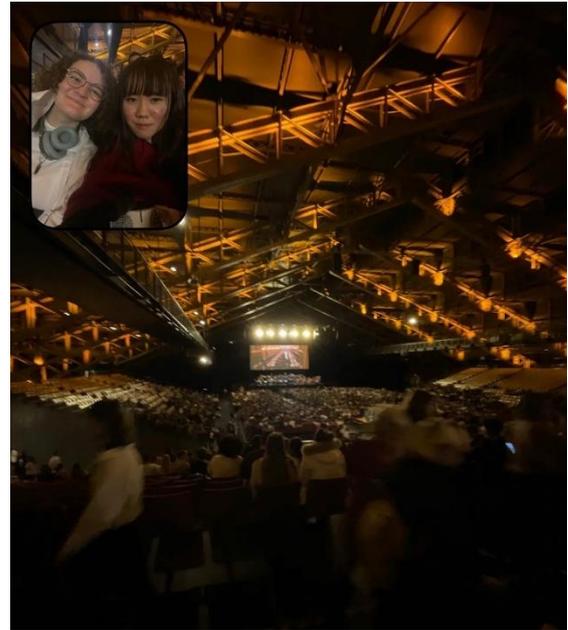
フランスの家庭では、バカンス時に親戚と過ごします。テレビを見てともに笑い合って食事する日本の文化とは違い、フランスでは食事中に家族との会話の時間を大切にしています。ホストファミリーの家族間の会話に心が温まる毎日です。そして私も自分の家族との会話や時間をもっと大切にしようと思いました。留学に来て4ヶ月目ですが、実際に他の国で家族と離れて生活をしてみて、留学の本来の目的であるお互いの国の文化交流だけでなく、私自身が人間としても成長できたと実感しています。会話が大好きなフランス人と毎日関わってきて気付いたことは、彼らの会話には褒め言葉がいっぱいです。そして、友人や大切な人に出会ったらグータッチやビズを交わして挨拶をするフランス特有の文化は、新鮮で美しいものだと感じました。自分の成長とともに、自分の世界が広がり、得るものの多い充実した経験ができて私は幸せです。家族や留学会社、ふるさと納税寄付者の方々、福井県高校教育課の皆様の支えがあったおかげです。心の底から感謝しています。残りの留学生活もより充実した毎を送りたいと思います。そして、毎日ホストファミリーやここで私を支えてくださっている多くの方々への感謝を忘れずに過ごしていきたいと思います。



友達とのクリスマスの写真



友人とスケート



ホストシスターと映画音楽のコンサート



友達とコンサートに行った時の写真



友達とコンサートに行った時の写真